

なぜ、今 国防軍 なのか

激論! 孫崎享 × 水島朝穂

昨年から急激化している憲法改正の動き、特に自民党が昨年4月に発表した日本国憲法改正草案は、自衛隊を「国防軍」とし、交戦権および集団的自衛権の行使を認めるなど、現行憲法の平和主義を根本的に変容させるものです。このような改正を必要とする理由として挙げられているのが、領土問題や中国脅威論などの「最近の国際情勢」です。

「最近の国際情勢」とは何か？現行憲法の下で国際紛争を解決する方法はどのようなものか？いま憲法改正が必要なのか？「国防軍」創設で問題は解決できるのか？

本シンポジウムでは、元外交官の孫崎享氏、憲法学者の水島朝穂氏が現状を鋭く分析し、憲法と平和主義を語り尽くします。

講演

1

まごさき うける

孫崎享氏

評論家。1966年外務省入省。駐ウズベキスタン大使、国際情報局長、駐イラン大使を経て、2009年まで防衛大学校教授。

著書に『日本外交—現場からの証言』（第二回山本七平賞受賞）、『日米同盟の正体』、『情報と外交』

『日本の国境問題—尖閣・竹島・北方領土』、『不愉快な現実』、『戦後史の正体』、『アメリカに潰された政治家たち』、『検証尖閣問題』

『これから世界はどうか：米国衰退と日本』、『独立の思考』など。

講演

2

みずしま あさほ

水島朝穂氏

早稲田大学法学学術院（法学部、大学院法学研究科）教授。法学博士。憲法学／法政策論。

札幌学院大学法学部助教授、広島大学総合科学部助教授を経て、1996年より早稲田大学法学部教授。

著書に『現代軍事法制の研究』、『時代を読む』、『憲法「私」論』、『平和憲法の確保と新生』

『長沼事件 平賀書簡—35年目の証言』、『18歳からはじめる憲法』、『憲法裁判の現場から考える』

『東日本大震災—この国への直言』、『戦争とたたかう—憲法学者・久田栄正のルソン戦体験』（近刊）

『改憲の何が問題か』（近刊）など。

パネル
ディスカッション

孫崎享氏

水島朝穂氏

コーディネーター

佐藤博文氏

札幌弁護士会憲法委員会事務局長

日時

2013年6月24日[月]

18:00~20:45

場所

かでの2・7大ホール

札幌市中央区北2条西7丁目

入場無料

事前申込不要